



京都産業大学

ことばの科学研究センター

2021 年度第 7 回研究会

2022 年 1 月 19 日 (水) 16:00~18:00

第二研究室棟会議室・Teams によるオンライン開催

印欧祖語に再建される基本語順
およびゲルマン語に生じた語順変化
吉田 和彦

ことばの科学研究センター研究センター員・外国語学部客員教授

ユーラシア大陸の広大な地域で現在使用されている印欧諸語は、紀元前 4000 年頃と推定される単一の印欧祖語から分岐して成立した。基本語順については、西側のアイルランド語では VSO、東側のシンハラ語では SOV である。印欧祖語は基本的に SOV に近いタイプであったと考えられるが、この立場に立つと西側のアイルランド語は典型的な主要部前置型、東側のシンハラ語は典型的な主要部後置型に移行したことになる。

この発表では、印欧祖語の基本語順が SOV であったことを支持する根拠をゲルマン語の立場から指摘するとともに、西側の諸言語に起こった OV から VO への推移を、言語内的要因に基づいて説明することを試みる。

オンラインによる参加の場合のみ center-lg-studies@cc.kyoto-su.ac.jp メールでお伝えください

